

CHUO UNIVERSITY HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE 2026



中央大学高等学校

未来への誓い

私たちは、試練を乗り越えてきた先輩から、決して諦めない心を学びました。
そして後輩へ、
新たな挑戦をし続け、何事にもくじけない心を伝えます。
今、世界はかつて経験をしたことのない困難に直面し、
大きな苦しみにあえいでいます。
私たち自らが灯となって世界を照らし、
輝かしい未来を築く先駆けとなることを誓います。



【 PLEDGE FOR OUR FUTURE 】

*We have succeeded with our never-say-die attitude. Our past graduates have overcome many obstacles.
They would like to pass on their unbreakable spirit to future graduates, to help them deal with the
challenges they will face throughout their lives.
Currently our planet is facing unheard-of difficulties.
People are suffering from a wide variety of problems.
We now vow to set an example and be a guiding light that illuminates the world.
We will take the lead in creating a peaceful society for future generations.*



中央大学高等学校校長
中央大学理工学部教授

高倉 樹

中央大学高等学校は、昭和3年（1928年）に設立された、中央大学の附属4校の中で最も古い歴史を有する学校です。中央大学の学風である「質実剛健」の精神と「家族的情味」のある環境の中で教育を実践することを目指としています。「質実剛健」の精神とは、物事に誠実に真正面から取り組み、困難にひるむことなく考え行動する姿勢のことです。そして、本校における「家族的情味」のある環境とは、生徒一人一人の顔が見える関わりを通じて、生徒・教職員・保護者が互いに理解と協調を深め、全人的な成長を目指す環境のことです。

生徒の皆さんには、3年間の高校生活を通して幅広い視野を養い、心豊かに日々を過ごしてもらいたいと思います。そして皆さんそれぞれが、自身の可能性を大きく広げ、人間として大きく成長することを願っています。

日本そして世界が目まぐるしく変化していく中で、若い世代の皆さんには、他人を思いやる心を持ち、教養と知性を備えた国際人であることが求められています。中央大学高等学校では、「質実剛健」と「家族的情味」を柱として、生徒全員がそのような素養を身に付けられるように環境を整えてまいります。

自分を育てる、世界を拓く。



教育目標

EDUCATIONAL GOAL

「質実剛健」と「家族的情味」が育むもの

『質実剛健』とは、時流に流されず、忍耐強く、自らを磨いていくこと。『家族的情味』とは、一人ひとりの顔が見える親身な教育を通じて、教師と生徒、保護者を加えた三者が親しみと信頼関係を築くという意味が込められています。これら2つの理念のもと、生徒の個性を健やかに伸ばすとともに、卒業後の飛躍へ向けた基本的な力を育んでいきます。

「自立」と「自律」のこころを育む

『自立』とは、親や他人に依存することなく、自分のことは自分でする心のこと。そして『自律』とは、物事の正邪をしっかりと見極めて、自分の行動を正しい方向へと導く心のことです。私たちは、日々の勉強、部活動、委員会活動などの集団活動や各種行事を通じて生徒の社会性を陶冶し、本当の『自立』と『自律』に導くことをめざします。

高い志を実現する「真」のリーダーを育成

『真』のリーダーとは、情報を知恵に昇華できる「学力」、人を惹きつける「徳力」、身体・精神双方の意味を含んだ「体力」の3つの力を備えた人物のことです。生徒たちにはそのような魅力のある人物になってもらいたいです。そのためには日々自覚を促しながら、毎日の生活を丁寧生きることで、徐々にその力を身に付けさせていきたいと考えています。

沿革

本校は昭和3年（1928年）に中央大学最初の附属校である「中央大学商業学校」として創立されました。当初は商業科のみの夜間定時制の学校として開校されましたが、平成5年（1993年）、昼間定時制に改め、現在の姿へと変遷をとげました。

質実剛健・家族的情味——本校では、中央大学の学風として今に受け継がれるこの二つの理念を体現する落ち着いた友愛に溢れる環境の中で、生徒の個性を健やかに伸ばすと共に、卒業後の飛躍へ向けた基本的な力を育んでいきます。

令和10年（2028年）に創立100周年を迎えるにあたり、普遍的な教育理念に磨きをかけ、更なる発展をめざします。



本校は令和10年（2028年）、創立100周年を迎えます。



中央大学 高等学校 の教育

EDUCATION AT
CHUO UNIVERSITY
HIGH SCHOOL

将来を見据え、長い目で生涯の成長を支える

高校・大学の7年間をひとつのまとまりと捉えています。これを前提とした場合、大人と子供の中間的な存在である高校生の段階では、将来、社会の構成員として有為な人物・信頼されるリーダーとなるための「基礎的資質と素養」をしっかりと身につけることが重要です。そのためにも、長い目で生徒の成長を支える学校でありたいと考えています。

良識ある大人の基準による常識を伝える、生徒指導・生活指導

挨拶の励行、校則（生徒心得）を理解し、守ることのできる姿勢の獲得と同時に、クラス活動・課外活動・各種行事を通じた人間関係構築の機会を作り、その努力を応援します。また、他者の話に耳を傾け、理解しようとする気持ちや、相手を認める心（寛容の気持ち）の大切さを伝えます。それらを励行できる体制と雰囲気は本校にはあります。

「知識」と「探求」

附属校であれ、受験校であれ、「知識」の獲得と「探求」の姿勢が求められることは「あたりまえ」のことです。本校では、受験に捉われない附属校であることから、詰め込み型の「知識」の習得ではなく、「探求」の授業にも対応できる基礎学力の育成を目指しています。また、比較的小規模であるという特長を活かして、小テスト・宿題・課題などのきめ細かなチェックを行い、読書・新聞・レポート・発表などを通じて自ら学ぶ・考える・自分の意見を発信できる能力と姿勢を伸ばしていきます。

英語力に関しては大学入学後を見据え、卒業までに4技能を意識して英検®2級*取得を目指し「O」時限に特講を開いています。取得後は、準1級あるいはTEAP（スコア型）の受験を推奨しています。

※中央大学に推薦されるためには、現行における英検®2級の資格を有していることが必須となります（ただし、相応の事情があり、その資格を取得できない場合は、校長がその資格に相当する学力を有すると認めた者）。

在校生メッセージ



H・S

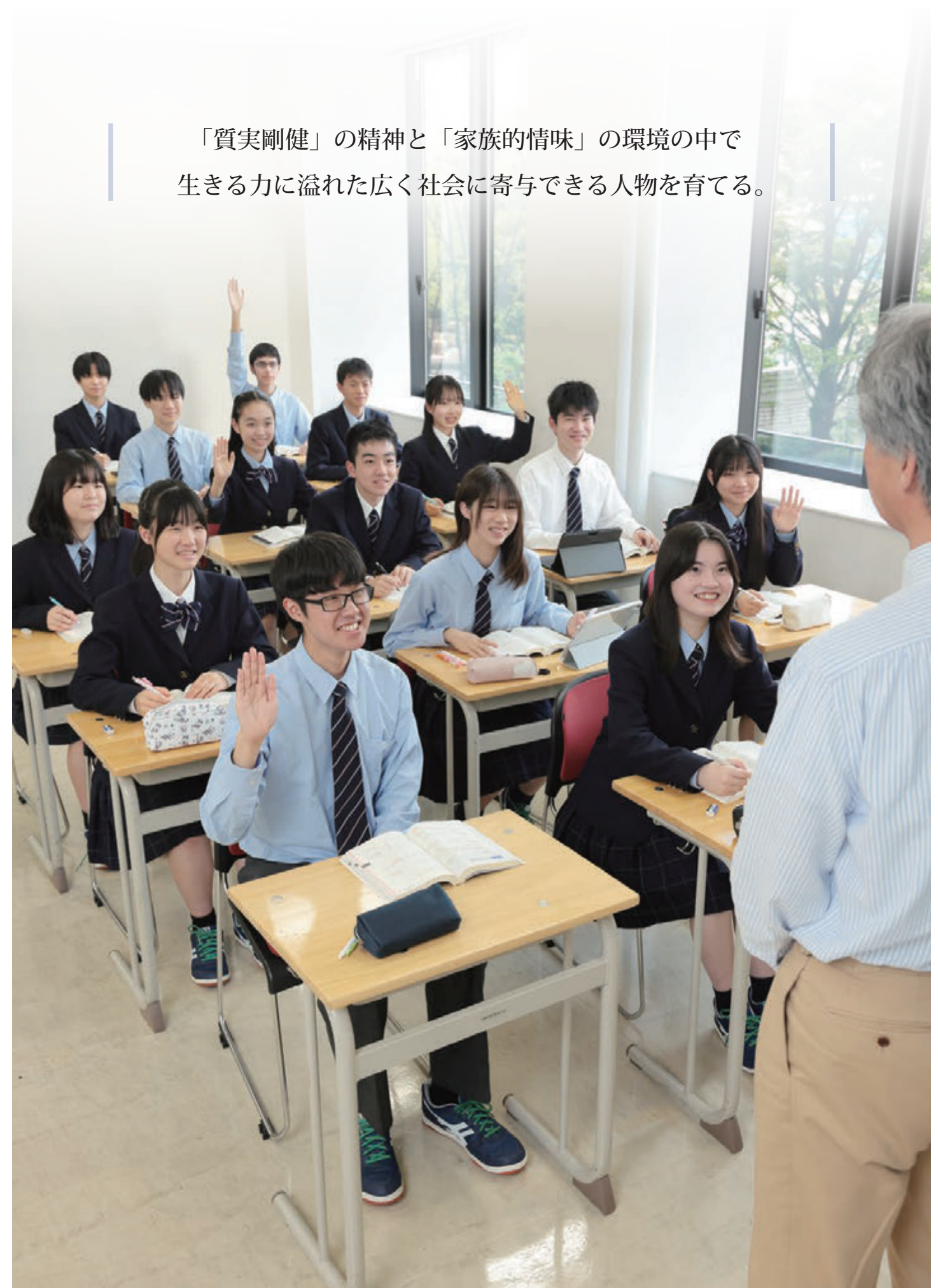
3年生 生徒会長
江戸川区立二之江中学校出身

ひと言でいうと中大高は“責任を伴うひとつの家族”

中大高の特色のひとつに自主性の尊重があると思います。たとえば僕たちが「校則を変えたい」というと先生は「それ、やってみようよ」と。そして提案に対していい点は褒め、改善すべき点をしっかりと指摘してくれる。そこには我々の責任も生まれるのですが、それでも“挑戦してみよう”と思える環境を作ってくれるのです。ひと言でいうと中大高は“責任を伴うひとつの家族”。親とは違う指摘と温かさで知恵をくださる学校です。

STUDENTS'
VIEW POINT

「質実剛健」の精神と「家族的情味」の環境の中で
生きる力に溢れた広く社会に寄与できる人物を育てる。



学習指導

TEACHING POLICY

一人ひとりに寄り添う学習指導

大学附属であり、小規模である学校の利点を活かし、一人ひとりを見守りながら学習指導を実施しています。本校には中央大学への進学希望者のみならず、他大学への進学を目指す生徒もいますが、いずれの場合でも必要な基礎学力の定着を図りながら、苦手科目のある生徒には基礎から補強し、力のある生徒にはより上を目指す環境を整えています。

「昼間定時制」の利点を活かす

施設上の理由から「昼間定時制」をとっているため、始業時間は全日制の学校より遅く、朝は9時15分までに入室するのが“通常”です（授業終了時間は15時50分）。そのため、余裕を持って通学することができます。3年間で高等学校の全課程を終了し、進学に向けた勉強や課外活動などは全日制と変わりません。

多様な進路希望に応える学力の養成

1・2年次は大学進学および進学後の学びをより伸長させるための「基礎」に重点を置きます。そのうえで2年次より、興味・関心、意欲の高い生徒を対象にした自由選択科目を「0時限」として実施。3年次からは文系・理系、中大推薦希望・他大学受験希望など、進路に合わせた科目選択や各種講座を通して、各自の進学に必要な能力を養います。

在校生メッセージ



Y・A

2年生 生徒会副会長
足立区立谷中学校出身

STUDENTS'
VIEW POINT

学校が見えるのは社会で活躍する人材の育成

将来どの方向に進むのか、その道筋を知る『キャリア講座』をはじめ、昼間定時制の特性を活かして早朝に行われる数学や英検対策、理科などの各種『特講』等、中大高は生徒の未来を見すえ、それを応援するプログラムが多い学校です。3年次の『社会研究』は、ひとつの物事に取り組み発表することで生徒の“発信する力”を鍛える特徴的なプログラムです。見すえるのは社会で活躍する人材を育てること。それが中大高の学びです。

着実な基礎学力の上に、
応用力・実践力を積み重ねていく、堅実な学習指導。



中央大学の学生に求められる学力の習得を前提に、1・2年次は、全科目を主要科目と位置づけた基礎力重視の授業を展開。3年次は、希望する進路に応じて文系（3クラス）・理系（1クラス）にわかれ、自ら考える力を養う課題探究型の授業を展開していきます。

教員と生徒が心を通わせ合える
家族的な校風のなかで日々楽し
く学びながら、高校生としての
自覚を持ち、今後の学びの礎と
なる基礎学力を身につけます。

必修科目			自由選択科目	
国語	現代の国語	2	言語文化	2
地理歴史	地理総合	2		
公民	公共	2		
数学	数学Ⅰ	3	数学A	2
理科	科学と人間生活	2		
保健体育	体育	2	保健	1
芸術	音楽/美術/書道	2		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	論理・表現Ⅰ	2
	英会話Ⅰ	1		
家庭	家庭基礎	2		
情報	情報Ⅰ	2		
総合的な探究の時間		1		
特別活動	ホームルーム	1	※芸術は、「美術」「音楽」「書道」の中から1科目を選択。	

基礎学力に「応用力」を積み重ねるため、数学の習熟度別授業を実施します。第二外国語や特別講座なども開講し、自分の興味・関心、適性を探します。

必修科目			自由選択科目	
国語	論理国語	2	古典基礎	2
地理歴史	歴史総合	2		
公民	政治・経済	2		
数学	数学Ⅱ	4	数学B	2
理科	化学基礎	2	物理基礎/生物基礎	3
保健体育	体育	2	保健	1
	英語コミュニケーションⅠ	4	論理・表現Ⅱ	2
外国語	英会話Ⅱ	1		
総合的な探究の時間			2	
特別活動			ホームルーム	1

※理科については、「物理基礎」「生物基礎」より1科目を選択。

中大推薦希望・他大学受験希望
など、進路希望に適した科目を
選択。演習やレポート作成など
も加えて、それぞれの進路実現
に必要な能力を養います。

文系 必修科目					自由選択科目	
国語	論理国語	2	文学国語	4	国語特講	1
	古典発展	3				
地理歴史	日本史探究/世界史探究	4			公民特講	1
	日本史演習*	2	世界史演習*	2		
公民					公民特講	1
数学	文系数学	2			数学特講	1
理科					理科特講	1
保健体育	体育	3				
外国語	英語コミュニケーションⅢ	4	論理・表現Ⅲ	2	第二外国語	2
	実践英語*	2			英検特講(準1)	1
社会研究	社会研究*	4				
総合的な探究の時間		1				
特別活動	ホームルーム	1				

中大推薦希望・他大学受験希望
など、進路希望に適した科目を
選択。理工学部と連携した体験
実験を行うなど大学進学に必要
な能力を養います。

理系 必修科目				自由選択科目	
国語	論理国語	2			国語特講 1
地理歴史					
公民					公民特講 1
数学	数学Ⅲ	5	数学C	3	数学特講 1
理科	化学	4	物理/生物	5	理科特講 1
保健体育	体育	3			
外国語	英語コミュニケーションⅢ	4	論理・表現Ⅱ	2	第二外国語 2 英検特講(準1) 1
総合的な探究の時間		1			
特別活動 ホームルーム		1			

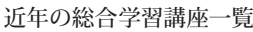
EXTRA PROGRAMS

「志」ある人物の育成のため、身の回りにある「課題」を発見し、解決方法を提示するプログラムを実践しています。6名程で構成されるグループそれぞれに、企業・研究機構有志の方がファシリテータとしてつき、様々な助言を頂きます。成果は全校生徒の前で発表し、ファシリテータの方からの講評をいただきます。さらに振り返りの会を通じて、今後のキャリア形成につなげていきます。

本講座の理論と実践をまとめた本が出版されました。『未来を生き抜く力を育むキャリア教育』（学事出版）



各界の第一人者を講師に迎え、お話を伺います。社会と第一線で向き合う方たちの言葉を通じて未知の世界への目を開き、将来を考えるきっかけとします。また、総合的な視野と幅広い教養を得ることで今後の可能性を広げていくことが目的です。



株式会社サイフーズ代表取締役	秋枝静香氏	「再生医療が切り拓く新たな世界－細胞から希望をつくる！Teamサイフーズの挑戦－」
リテラシーラボ代表	千葉偉才氏(いざや)氏	「多様な価値観は社会を豊かにする－若者たちの声が必要な理由－」
株式会社UPQ代表取締役	中澤優子氏	「ものづくりの世界」
スーパーガイド	崎原真弓氏	「琉球の先人達の生き様から学ぶ肝心(チムゲル)」

その他の連携教育

中央大学経理研究所が実施する簿記検定講座を受講できます。日商簿記検定試験の3級、2級合格を目指します。

進路指導 進学実績

POST-GRADUATION

母校から広い世界へ。

“広く社会に貢献し、新しい時代を築く「真」のリーダーをめざすために” “目まぐるしく変わっていく時代の本質を捉え、他者から必要とされる人物となるために” そんな高い志を芽吹かせ、育て、大きく花開かせるためのあらゆる支援を、力惜しむことなく尽くしていく。それが本校のつとめです。

本校において、進学指導とは生徒たちの人生を切り拓くための羅針盤。大学進学、そしてその先の夢を一人ひとりの生徒が実現できるよう指導を行います。

附属の高校として多くの生徒が中央大学へ進学できますが、本校では生徒個々の適性や可能性にも目を向け、他大学受験も視野に入れた進学希望にも柔軟に対応しています。

放課後には、本校卒業生（令和7年度は早稲田大1名）の協力を得てチューター制度を設けるなど、生徒たちが気軽に質問・相談できる環境も整えています。

合格大学一覧（数字は延べ人数、○数字は既卒者 3月末日現在）

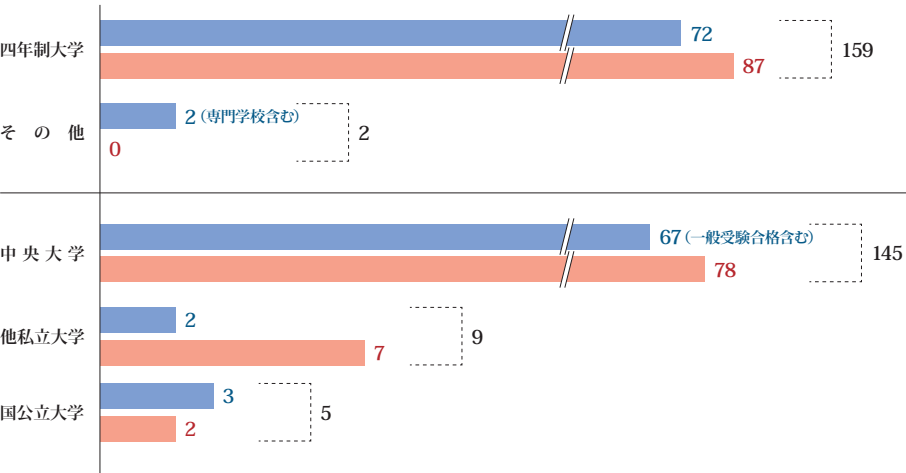
四年制大学（50音順）

国公立● 一橋大学（商学部 1）／筑波大学（理工学群工学システム学類 1）／東京農工大学（農学部共同獣医学科 1）／東京外国語大学（言語文化学科ポルトガル語専攻 1）／横浜国立大学（経営学部経営学科 1）

私立● 青山学院大学（経営学部経営学科 1、経済学部経済学科 1、社会情報学部社会情報学科 1）／麻布大学（獣医学部獣医学科 3）／北里大学（獣医学部獣医学科 1）／國學院大学（文学部外国語文化学科 1）／国士館大学（文学部史学地理学科地理環境コース 2）／駒澤大学（文学部心理学科 1、文学部地理学科 2）／芝浦工業大学（工学部機械工学科 1）／上智大学（外国語学部英語学科 2、外国語学部ポルトガル語学科 3、経済学部経営学科 2、経済学部経済学科 1、総合グローバル学部総合グローバル学科 1）／上千葉工業大学（情報変革科学部認知情報科学科 1）／中央大学（理工学部精密機械工学科 1、法学部法律学科 3）／東京電機気大学（未来科学部未来科学学科 1）／東京医科大学（医学部医学科 1）／東京女子大学（現代教養学部経済経営学科 1）／東京理科大学（先進理工学部物理工学科 1）／獨協大学（外国語学部英語学科 1、国際教養学部言語文化学科 1）／法政大学（文学部英文学科 1、理工学部機械工学科 1）／明治大学（国際日本学部国際日本学科 2、商学部 2、文学部英文学科 1）／立教大学（文学部キリスト教学科 1、英文学科 1、経営学部経営学科 1、経済学部経済学科 1、経済学部会計ファイナンス 1）／早稲田大学（国際教養学部国際教養学科 2）

卒業生の進路状況

令和6年3月卒業生 161名（男子74名、女子87名）



卒業生からの メッセージ

GRADUATES MESSAGE

様々な方面で活躍する卒業生

中大高で学び、大学、社会へと羽ばたいていった先輩たちが、たった一度しかない高校時代になにを学び、どんなことを考えながら「いま」と「将来」を見据えていたのか。勉強のこと、部活動のこと、先生たちとのこと、そして友だちのこと…。色々な思いをそれぞれに抱えながら過ごした「あの頃」を振り返ってもらいました。



T・S

学校法人 二松学舎
第35回生 昭和58年3月卒業
(中央大学 経済学部 国際経済学科卒業／市川市立第三中学校)

中大高だからこそできた、人生の再スタート

硬式野球の強豪高校が体質に合わず退学。大学進学を念頭に当時の中大高校へ転校しました。屋上しか練習場所が無い野球部で全国大会出場を果たし目標に対して真摯に向き合う心を高校時代に学びました。現在は、野球部の卒業生組織を結成し後輩の支援を通じ母校との繋がりを続けています。是非、中大高校で自分のやりたい何かを見つけ強烈に印象に残る悔いのない高校生活を過ごしてください。そのための時間と環境がここにはあると思います。※現在、転編入は行っておりません。



Y・Y

BANDAI NAMCO Entertainment (SHANGHAI) CO., LTD. GUANGZHOU Branch(当時)
第64回生 平成24年3月卒業
(中央大学 総合政策学部 政策科学科卒業／清明学園中学校)

現在の仕事に挑戦するきっかけとなった中大高での経験

思い出深いのは文化祭実行委員長をしたことです。そこで物事をやりきる達成感を味わうことができました。また、入部した女子バスケットボール部では、初心者であったにもかかわらず温かく迎え入れてくれたことで一歩踏み出して挑戦することの大切さを教わるなど、そういった体験の積み重ねが単身で海外駐在に挑戦したいという気持ちを後押ししてくれたのだと思います。友だちと放課後の教室でお喋りしたことや学校帰りに東京ドームシティで遊んだことなど、大学受験のない附属校ならではのゆるさも心地よく、そんな何気ない日常の学校生活も大切な青春の思い出になっています。



S・T

PwC Japan有限責任監査法人
第72回生 令和2年3月卒業
(中央大学 商学部 会計学科卒業／千葉県立有吉中学校)

人に頼ることを恐れず自分を大切にしながら、前へ！

軟式野球部での経験が一番印象に残っています。マネジャーとして、サポート役だけでなく常に周囲の状況を把握し先を読むこと、そして人の立場や気持ちを考えながら行動したことは貴重な成長の機会となりました。中大高に進んだのは大学生活を見学した学びができることでその後の可能性を広げられると考えたからなのですが、実際、附属校ならではの社会研究や希望制課外授業は将来の方向性を決定するきっかけとなるなど非常に有意義でした。皆さん、中大高では周りの人に頼ることを恐れず、自分自身を大切にしながら進んでください。



H・N

一橋大学 商学部
第77回生 令和7年3月卒業
(昭和女子大学附属昭和中学校)

大学の学びを意識した学習や、将来を考える多くの体験

中大高は附属であるため大学での学びを意識した学習や将来について考える体験がたくさんできます。そのなかで“将来どんなことがしたいのか”“大学では何が学びたいのか”を深く考えることができ、進路についての考え方が変わりました。私は他大を受験したため高3の文化祭や体育祭への積極的な関わりは難しいと考えていましたが、周りのみんなが力を貸してくれたお陰で両行事ともに3年間で一番充実したものとなり、友だちとの仲を深めることもできました。先生や生徒のみんなと距離の近い中大高、楽しく生活ができると思いますよ。

中央大学について CHUO UNIVERSITY



1885年、「英吉利法律学校」として創立されて以来、現在に至るまで「實地應用ノ素ヲ養フ」という建学の精神を受け継いでいます。中央大学は、8学部、大学院8研究科、専門職大学院2研究科、4附属高等学校、2附属中学校を擁する総合学園となった現在において、建学の精神は、多様な学問研究と幅広い実践的な教育を通して「行動する知性。－Knowledge into Action－」を育むという本学のユニバーシティ・メッセージに受け継がれています。



多摩キャンパス



市ヶ谷田町キャンパス



後楽園キャンパス

学部学科・大学院研究科

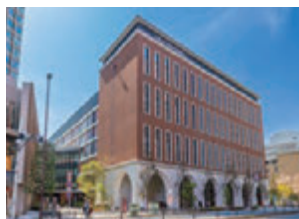
法 学 部	法律学科／国際企業関係法学科／政治学科
経 済 学 部 ※	経済学科／経済情報システム学科／国際経済学科／公共・環境経済学科 ※2027年4月「経済学科」「社会経済学科」へ再編を構想中
商 学 部	経営学科／会計学科／国際マーケティング学科／金融学科
基幹理工学部 ※	数学科／物理学科／応用化学科／生命科学科 ※2026年4月開設予定（設置届出中）
社会理工学部 ※	都市環境学科／ビジネスデータサイエンス学科／人間総合理工学科 ※2026年4月開設予定（設置届出中）
先進理工学部 ※	精密機械工学科／電気電子情報通信工学科／情報工学科 ※2026年4月開設予定（設置届出中）
文 学 部 人 文 社 会 学 科	国文学専攻／英語文学文化専攻／ドイツ語文学文化専攻／フランス語文学文化専攻／中国言語文化専攻／日本史学専攻／東洋史学専攻／西洋史学専攻／哲学専攻／社会学専攻／社会情報学専攻／教育学専攻／心理学専攻／学びのパスポートプログラム
総 合 政 策 学 部	政策科学科／国際政策文化学科
国 際 経 営 学 部	国際経営学科
国 際 情 報 学 部	国際情報学科
大 学 院	法学研究科／経済学研究科／商学研究科／理工学研究科／文学研究科／総合政策研究科／国際情報研究科／戦略経営研究科

專門職大学院

ロースクール (法科大学院)	法科大学院は、裁判官、検察官、弁護士などの実務法曹を育成する機関で、「ロースクール」とも呼ばれる専門大学院です。
ビジネススクール	戦略経営研究科戦略経営専攻「ビジネススクール」は、高い倫理観と品性を備え、戦略的思考に基づいて業務を遂行できるプロフェッショナルを育成する大学院です。

茗荷谷キャンパス(文京区)で新時代を切り拓く法学教育を展開

新キャンパスでは、これまでの法学教育に加え、法学部と法科大学院（ロースクール）の連携教育の強化や、後楽園キャンパス（理工学部）および市ヶ谷田町キャンパス（国際情報学部）とともに、3学部共同開講科目を設置し、社会科学系と理工学系の多方面から分析できる視点を養う教育を予定しています。また、卒業生のネットワークを活かし、社会の第一線で活躍する実務家を多数招いて、様々な角度から講義を積極的に展開していきます。



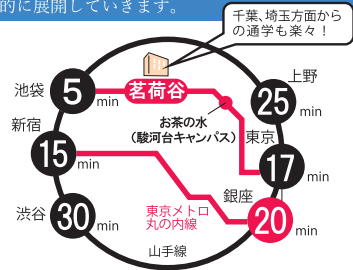
茗荷谷キャンパス



駿河台キャンパス



小石川キャンパス



高大連携教育 COOPERATION BETWEEN HIGH SCHOOL AND UNIVERSITY

附属高生の利点 ゼミ生×教授

【経済学部】

経済学部の講義(今年度は後期)を本校の教室で受講し、オンラインで経済学部に進学した際に申請することで単位認定されます。その他、特別講義の開講など様々な連携をしています。



R・H (写真左)
中央大学 経済学部 公共環境経済学科3年
豊島区立駒込中学校 出身
第75回生 令和5年3月卒業

江川 章 (写真右)
経済学部 准教授／農学博士

江川／私も関わった附属高校を対象にした『入学前特別教育研究プログラム』や『経済入門』などの高大連携プログラムは、大学での学びはもちろん就活を見すえたうえでも、高校生の段階から経済・社会問題に触れ、考えていく学問を習熟するという点でとてもいい機会だと考えます。『農業経済論』をベースにした私のゼミにおいて、学生には主体性や能動性を身につけてほしいと考えていますが、中大高OBは連携教育を通して自ら学ぶ姿勢を持っていて、リーダー的存在になる生徒も多いのはその成果でしょう。Hくんはその代表格、ゼミを牽引する中心人物の一人です。

R・H／高大連携プログラムは、自ら問題意識を芽生えさせないと研究にならないという前提があるがゆえに“どうしてだろう？”という答えのないものに立ち向かう能動性が身につく学びです。中大高に入るメリットのひとつはそこ。私自身、経済学部か商学部か文学部に行くか…で迷っていたときに『入学前特別教育研究プログラム』で経済を学び、その総評で江川先生の“自分の生活に密接に関わっているものを研究することが経済学だ”というお話に惚れ込み経済学部に進んだのですが、中大高での学びは基礎知識として活かされていることを実感しています。

【理工学部】

同キャンパス内の理工学部とは、理系進学者を対象に年3回の特別講義と体験実験教室を開催。また数学科では科目等履修制度により高校からの単位履修が可能です。



R・M (写真左)

中央大学 大学院 理工学研究科 生命生命科学専攻1年
千葉県柏市立柏第二中学校 出身
第73回生 令和3年3月卒業

福井 彰雅 (写真右)
理工学部 生命科学科学科
教授／理学博士

福井／カエルやイモリといった両生類を使い“動物の体のかたちがどのようにできていくのか”を研究しています。研究を通じて学生たちには膨大な情報のなかから必要なものを取捨選択し、それを人に示すことのできる「コミュニケーション能力＋プレゼン能力」を身につけることを望んでいます。Mくんは非常にクレバーな上に中大高の卒業生らしく基礎もしっかりしており、大学進学後に学びをきちんと積み上げていくことができるのはそのためだと思います。欲を言えば“まじめ”に加えてもっと“遊び”を取り入れながら実験を進めてもいいかな…とは思いますがね。

R・M／「コミュニケーション能力＋プレゼン能力」という部分ではこのゼミはとても力を入れています。自分はまだそこまでうまくないのですが成長はできているのではないかと思います。それと先生のお話にあった学びという意味において、しっかり勉強をできる期間はやはり学生時代だと思っています。そういう意味において中大高の生徒は根が真面目なお互いに切磋琢磨できる状況であり、学びの環境としていいところです。先生のご指導のもと、しっかり勉強して努力の道筋を中大高で作れば、大学やその先でも活かせるのではないのでしょうか。

年間行事 ANNUAL EVENTS

四季折々のさまざまな体験、はじめての取り組みに戸惑いながらもみんなと力を合わせた文化祭など、学校行事を通した仲間や先生たちとの交流は、どれも、将来を豊かにするための青春の礎です。

4 ● 入学式 ● オリエンテーション
● 新入生歓迎行事 ● 避難訓練

5 ● ホームルーム合宿(1・2年生)
● 修学旅行(3年生)

6 ● 英語検定 ● 漢字検定
● 芸術鑑賞教室

7 ● 創立記念日

8 ● 夏期講習

9 ● 防災訓練 ● 後楽祭
● 体育祭

10 ● 英語検定

11 ● 生徒総会 ● 総合学習講座
● 漢字検定

12 ● 補習習

1 ● 推薦入学試験 ● 英語検定

2 ● マラソン大会 ● 一般入学試験
● 漢字検定

3 ● 卒業式



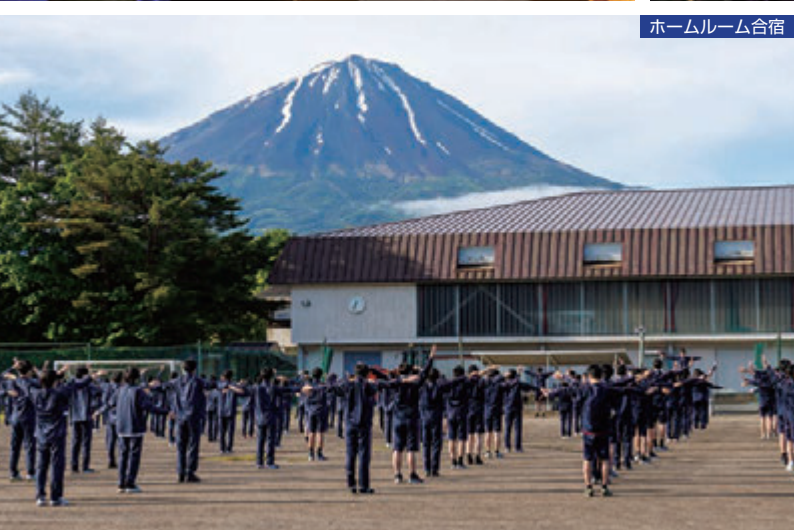
入学式



入学式



入学式



ホームルーム合宿



ホームルーム合宿



ホームルーム合宿



ホームルーム合宿



ホームルーム合宿



体育祭



体育祭



体育祭



体育祭



体育祭



体育祭



体育祭



後楽祭



後楽祭



後楽祭



後楽祭



マラソン大会



マラソン大会



修学旅行



修学旅行



修学旅行



修学旅行



卒業式



卒業式



卒業式

クラブ活動 CLUB ACTIVITIES

10の運動部、9の文化部、そして生徒会、5つの委員会など、約9割の生徒が放課後の活動を行っています。
それぞれの部が練習の工夫などにより成果を上げ、バレーやバスケットなどのアリーナ系の部はもとより、グラウンドがない中でも野球やサッカーなどのクラブも活気づいています。

運動部



男子バスケットボール部

ディフェンスでプレッシャーをかけ前からボールを奪取、速攻&スリーポイントを主軸に戦うのが私たちのスタイル。いい雰囲気作りも大切にしています。



女子バスケットボール部

先輩後輩がない女バスです。チーム内でプレイヤー同士がアドバイスを意見を出し合い、お互いに高め合えるチームが私たちの理想像。初心者大歓迎！



剣道部

礼儀や動作を重んじる剣道は精神面も整えられる武道です。部のモットーは“自分から攻める”こと。受けの姿勢で負けるのではなく、攻めの攻撃を貫きます。



サッカー部

都大会出場を目標に実戦を想定した練習を意識しています。チームスポーツなので仲間と団結して喜びを分かち合いたい。そのためにも“勝利”をめざします。



軟式野球部

基礎を固めることを意識した練習を軸にお互いに課題を指摘し合いながら技術力を高めています。目標は新チームでの“まず一勝！”。チームワークは最高！



男子バレーボール部

試合での勝利を見すえ基礎を固めています。特に意識しているのは攻撃につなげるためのカット。そこから多彩な攻撃を展開できるチームをめざしています。



バドミントン部（男子）

“明るく楽しく”を一番に練習を選手で考え実践、そこから個々の課題を見つけ改善していくのが僕たちの流儀。練習の成果が顕著に出るのもバドの魅力です。



バドミントン部（女子）

部員全員で協力し合い意見もちゃんと伝える。そのうえで楽しむのが私たち。実践形式の練習で攻撃のテンプレートを作りい結果を出していきたいです！



硬式テニス部（男子）

“ラリーが楽しい”“打ったときの音が気持ちいい”など一人ひとりの“楽しい！”を見つけ技術も向上する、そんな部活動をできたらいいな…と思っています。



硬式テニス部（女子）

基礎練習を繰り返し、そのあとにラリーを行うことで実戦でも使えるような練習を意識しています。“楽しい部活”で大会に勝つことが私たちの目標です！

文化部



茶道部

裏千家の先生をお招きし本格的なお点前、作法を学びます。茶道は日本文化のひとつ。着物を着てお手前を披露する際の凛とした気持ちは、茶道ならではの。



吹奏楽部

定期演奏会やコンクールにむけて活動をしています。J-POPや海外の曲など好きな曲を仲間たちと一致団結、楽しく演奏できた時、一番の喜びを感じます。



合唱部

歌が大好きな仲間とアイデアを出し合いながら曲とステージを作り上げています。みんなひとつの歌を作りあげる喜びと楽しさを一緒に味わいませんか？



文芸部

小説やエッセイ、短歌や俳句、詩など自分の書きたいものを活字で表現しています。部誌にまとめた作品を読んでくれた人の声を聞ける嬉しさは特別です。



パソコン部

eスポーツ大会を見すえたLOL部門と3Dモデリングやゲームを作るIT部門に分かれて活動しています。どちらも自分の好きなことに向き合えるのが魅力です。



書道部

小中学校の書道とは違い高校の書道は自分の考えや個性を表現する創作書道。文化祭や新入生歓迎会では個の力を集結したパフォーマンスも行っています。



美術部

文化祭と新入生歓迎展示に向けた作品作りを行っています。画材や表現方法などの自由度が高く“自分”を作品としてありのままに出せるのが美術の魅力です！



演劇部

舞台の上で自分と違うキャラクターを演じることで自分自身の視野が広がる演劇はいわば“人間修行”。仲のよさとメリハリを大切にいい劇を作っていきます！



軽音楽部

各学期に2回ほどLIVEを開催、J-POPや洋楽などバンドごとに好きな音楽を演奏しています！LIVEの一体感は軽音ならではの！自分らしさを出せる部です！



生徒会

中高大が“もっとみんなが過ごしやすい学校”になるよう、活動をしています。大所帯なので人とのつながりを広げられるのも特長です。

委員会



放送委員会

緑の下の力持ちとして始業式、終業式を支えています。裏方から目立たない…だけど、大切な式を運営する上においてなくてはならない存在です。



図書委員会

自分の知らない世界を追体験できるのが本の魅力です。そしてそれを皆さんにお伝えするのが私たちの役割。そのための活動を一緒にしませんか？



文化祭実行委員会

生徒全員がつながるような文化祭をめざしています。少人数の学校でも“こんなに楽しい文化祭ができるんだよ！”っていうことを私たちが証明します！



修学旅行委員会

行き先から行程まで生徒主体で作っていくのが中高大の修学旅行！僕たちの代の旅先は北海道。仲良くなった学年全員で最高の思い出を作ります！



体育祭実行委員会

競技を決めルールを作りタイムスケジュールを組む。40人前後の委員全員で力を合わせみんなが“楽しかった！”といえるような体育祭をめざします！

在校生のメッセージ STUDENTS MESSAGE

在校生が語る中大高生活

「家族的情味」の言葉に示されるアット・ホームな雰囲気、そして附属校という利点を活かして、多くの生徒が受験勉強のみに捉われない高校生活を送り、部活動や委員会活動などに励んでいます。そんな生徒たちからみた中大高の様子と自身の成長などを語ってもらいました。



K・O

3年生／サッカー部
千葉県千葉市立大椎中学校出身

部活動や委員会活動を3年間一杯できるメリット

両親が中大杉並から中央大法学部に進んだのですが、僕も同じ道に進みたくて中大高を選びました。説明会では生徒会の人が前に出て話をしてくれたのですが、それが堂々としていてカッコよくて、印象的でした。学校の第一印象は“みんなの仲が良さそうで和を乱すような子がいない”というものでしたが、入ってみるとその通りで、穏やかで常識ある生徒が多い学校です。部活動や委員会活動を3年間一杯できることもメリットです。僕はサッカー部で部長、生徒会では渉外部で活動していますがどちらも続けられていることは一番よかったことだと思っています。



M・Y

3年生／書道部
埼玉県蕨市立東中学校出身

できることを、できる場面でやり遂げる中大高生

口コミなどでは「陰キャが多い」と言われることもあるのですが、それは違うと思います。みんな根っから優しく周りに目を配れる人が多いのが中大高です。ひとつひとつに全力でとりくむ生徒も多く、勉強や部活動、行事などでそれぞれできることを、できる場面でやり遂げる。そのうえで誰でも優しく受け入れてくれる“ウエルカム”な雰囲気のある学校です。もともと積極的ではなかった私がこの学校に入って色んなことに対して“できるかどうかわからないけど、チャレンジしてみよう！”と考え、行動するようになったのはそんな環境だからなのだと思います。



H・K

2年生／バドミントン部
品川区立日野学園中学校出身

生徒主体の説明会。その実行力に魅せられました

説明会に参加してもらえると分かると思うのですが、中大高は先生ではなく生徒が主体となって会を運営しています。僕はその実行力に魅せられ、そういう学校で成長できればと思い、受験しました。入学後、色んな人と関わる能力を身につけたくてオーストラリアに留学したのですが、帰国後はその間の学習の遅れを取らないよう配慮してくれるなど、サポート体制が整えられているのも利点です。少人数なので廊下を歩けばみんなの顔も名前も分かる環境で、勉強面において先生方は僕の得意も苦手も把握してくれているので学びやすく、居心地のいい学校です。



A・M

2年生／茶道部
葛飾区立新宿中学校出身

将来を見すえて深く考えることのできる環境です

附属校で交通の便がよく、制服が可愛い。それが中大高を受験したきっかけです。附属校を志望したのは大学受験に縛られなくなかったからなのですが、今、実際に自分の好きな学びができています。たとえば英検講座などの補講など様々な学習サポート体制が整えられているなど、学びに対する自由度は高いと思います。生徒一人ひとりの好きなことについて探究する『データサイエンス』という授業では研究成果のまとめとして発表する機会もあるので人に伝える力をつけられるように、生徒の将来を見すえ、人生設計について深く考えられる機会もたくさんあります。

制服 SCHOOL UNIFORM

生徒の意見も採り入れてデザインされた制服。男女共、シャツ・セーター・ベストは2色から選択。女子はリボンとネクタイを好みに応じて選ぶことができ、替えスカートと夏用リボンも着用できます。ボタンは、家族的情味を象徴する「もみじ葵」をデザイン化したものを採用しました。

なお、スラックス・ポロシャツは男女共用とし、スラックスはシルエットが異なる2種類を用意しています。＊は任意のアイテムです。



| standard

| summer

| polo shirt ＊



| rucksack ＊

| slacks ＊

| spring / autumn

在校生メッセージ



E・Y

2年生 生徒会副会長
習志野市立第二中学校出身

失敗を恐れず物事に取り組むことができる3年間

僕が中学生だったとき、中大高に通っていた姉がよく言っていたのは先生の優しさや、先輩たちが助けてくれること、そして“友だちも面白くて、優しいんだよ”という話でした。実際その通りで、先生は優しく、生徒はいい意味で周りを気遣っているのが中大高です。氣遣ってもらえると、それを返そうと思います。そんな好循環があるから、失敗を恐れず率先して物事に取り組むことができるのが中大高という学校だと思うのです。

STUDENTS'
VIEW POINT

FREQUENTLY ASKED QUESTIONS ● よくある質問

Q. 昼間定時制と全日制の違いについて説明してください。

- A. 全日制と定時制の違いは、学校設置基準によるものです。本校は昭和3年に夜間定時制高校として認可を受け（中央大学内に設置）、独自の校地・校舎を持たない状態のまま歴史を重ねてきました。昭和55年に現在の後楽園キャンパスへ移転して初めて独立した校舎を持ちましたが、グラウンドや体育館はないままでした。平成5年に教育課程を変更し、授業時間帯を昼間に移行して再出発しました。しかし、施設面では依然として全日制高校の設置基準を満たせていません。したがって、本校は設置基準によって定時制課程と分類されていますが、授業、特別活動などにおいては全日制と変わることはありません。また、部活動に関しては、すべて全日制の大会に参加しています。

Q. 学校説明会には毎回出た方がいいですか。

- A. 1回はお越しになることをお願いしたいと思います。本校は大学キャンパス内にあり、一般的な高等学校の環境とはかなり違うことをご確認・ご理解いただくためです。ただし、参加回数による有利不利はありません。

Q. 中央大学へはどのくらい進学できますか。

- A. 現在のところ約9割の生徒が進学しています。高校からの推薦順位は、学業成績・特別活動・出席・資格・実力テストの成績などを総合して算出されます。学業成績が基準に達していない場合には、推薦資格が得られませんので日常の予復習や授業への取り組み姿勢が大切です。また推薦されるためには、現行における英検®2級の資格を有していることが必須となります（ただし、相応の事情があり、その資格を取得できない場合は、校長がその資格に相当する学力を有すると認めた者）。

Q. 部活動、委員会活動について説明してください。

- A. 約9割の生徒が所属して活動しています。高校生活を充実したものにするためには欠かせないものと考えていますが、活動場所や日数には制限があるため、郊外の施設を借用するなど工夫して活動しています。

Q. 始業時間、就業時間が遅いと聞きましたが……また土曜日の授業やカリキュラムについても説明してください。

- A. 朝は、9時15分までに入室、その後ショートホームルーム（SHR）、授業。授業終了時間は15時50分、その後SHRと清掃。さらにクラブ活動などが後片付けを含めて18時45分まであって、最終下校時刻は19時です。また、0時限〔特別講座、自由選択科目、補講、補習〕は8時～9時に行われます。土曜日に関しては1、2年次は正課の授業を行っています。

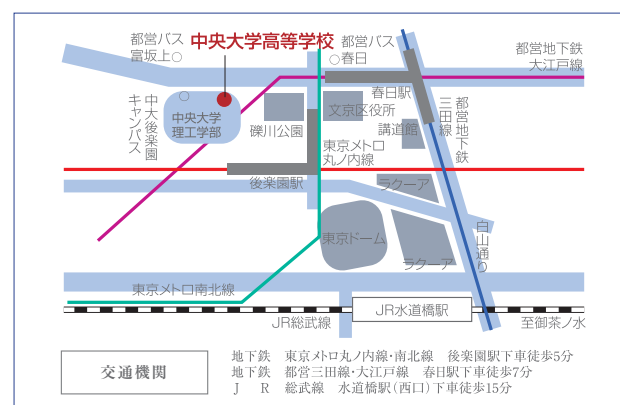
時程表					
月～金 ※土は1、2年のみ午前授業あり	0	時	限	8:00	～ 9:00
	S	H	R	9:15	～ 9:25
	1	時	限	9:25	～ 10:15
	2	時	限	10:25	～ 11:15
	3	時	限	11:25	～ 12:15
	4	時	限	12:25	～ 13:15
	昼	休	み	13:15	～ 14:00
	5	時	限	14:00	～ 14:50
	6	時	限	15:00	～ 15:50
	S	H	R	15:50	～ 16:00
	7	時	限	16:30	～ 17:20
	8	時	限	17:20	～ 18:10
	最	終	下	校	19:00

Q. 他大学併願制度について説明してください。

- A. 中央大学への推薦を得た人が、その資格を留保したまま（入学金は必要）、国公立大学または中央大学にはない学部・学科（医・歯・薬・獣医・看護）を受験することができる制度です。しかし実際には、附属の高校で推薦資格を取るには全ての授業を誠実に学習することが必要なので〔全科目主義〕、受験勉強との両立には、しっかりとした進路に対する意識や目標に沿った努力と覚悟が必要です。

Q. 入学手続きに必要な費用はどれくらいですか。

- A. 入学申込金300,000円、後援会入会申込金7,000円、生徒会入会申込金2,500円が必要となりますが、後援会入会申込金と生徒会入会申込金については、公立高校（東京、神奈川、千葉、埼玉）受験者は、手続きをすることによって公立高校合格発表日まで延納することができます。詳細は、2026年度生徒募集要項でご確認ください。
※学納金は経済情勢の変動等により改定することがあります。



〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27
tel. 03-3814-5275
<https://www.cu-hs.chuo-u.ac.jp/>



ENTRANCE EXAM ● 2026年度(令和8年度)入学試験概要 EVENT SCHEDULE ● 公開行事

	推薦入学試験	一般入学試験
募集人員	男子 25 名 女子 25 名	男女 70 名
Web出願入力開始日	12月20日(土)	12月20日(土)
出願書類受付期間	1月15日(木)まで※郵送必着	1月26日(月)～1月31日(土)※最終日郵送消印有効
試験日	1月22日(木)	2月11日(水・祝)
合格発表日(本校Webサイト)	1月22日(木) 22:00	2月12日(木) 22:00時頃
入学書類交付日	1月23日(金) 10:00～11:00	2月13日(金) 10:00～11:00
入学手続期間	1月23日(金)～1月24日(土) 15:00	2月13日(金)～2月14日(土) 15:00
延納	なし	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の公立高校を併願し、本校所定の手続きをして許可された者について合格発表日まで納付金の一部延納を認めます。詳細は2026年度募集要項にてご確認ください。
出願資格	1. 2026年3月中学校（海外の日本人学校を含む）を卒業見込みの者。 2. 本校を第一志望とし、人物に優れ、素行に問題がないこと。 3. 在学中学校長の推薦を受けた者。 4. 欠席・遅刻・早退の合計が3年間で15未満であること。ただし、入院等の特別の事情がある場合は出願を認めることがある。 5. 3年次調査書評定の合計（必修9教科）が、5段階評定で3以上7以下の者。 ※詳細は募集要項参照 6. 中学校3力年を通じて、評定の1・2がないこと。 ※1・2年次の学年末成績及び3年次調査書評定 7. 保護者のもとより通学可能な者。	1. 2026年3月中学校（海外の日本人学校を含む）を卒業見込みの者及び中学校卒業生。 2. 保護者のもとより通学可能な者。
出願書類	①推薦書(本校所定書式) ②調査書(本校所定書式) ③写真票 ④面接写真票	①調査書(本校所定書式) ②写真票 ③面接写真票
入学検定料	30,000 円	30,000 円
試験内容	面接試験：個人面接約10分 基礎学力調査：国語・社会（合計60分） 数学・理科（合計60分） 英語（40分・リスニング含む） 配点：英(45)・国(40)・数(40)・理(35)・社(35)	面接試験：受験生6～7名のグループ面接 約10分 筆記試験：国語（50分）・数学（50分） 英語（60分・リスニング含む） 配点：国(100)・数(100)・英(100)
合否判定	面接試験での判定 調査書・基礎学力調査による総合判定	面接試験での判定 筆記試験・調査書による総合判定
備考	推薦入試を受験した一般入試受験生については、筆記試験（300点満点）の得点に対し10点をプラスする。	

学校説明会

● 7月20日(日) ● 8月27日(水) ● 10月12日(日)
● 12月14日(日)

場 所：本校および中央大学後楽園キャンパス 5号館

- ① 各回 14:00～15:30
② 全日程予約制です。
③ 詳細は本校Webサイトをご覧ください。

後楽祭(文化祭)

9月6日(土)・7日(日)
詳細は本校Webサイトでお知らせします(8月初旬掲載予定)。

「生徒会主催」学校説明会

11月15日(土) 14:00[予約制]
詳細は本校Webサイトでお知らせします(9月中旬掲載予定)。